

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りが無いことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサスエレクトロニクス株式会社およびルネサスエレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

お客様各位

資料中の「三菱電機」、「三菱XX」等名称の株式会社ルネサス テクノロジへの変更について

2003年4月1日を以って株式会社日立製作所及び三菱電機株式会社のマイコン、ロジック、アナログ、ディスクリート半導体、及びDRAMを除くメモリ(フラッシュメモリ・SRAM等)を含む半導体事業は株式会社ルネサス テクノロジに承継されました。

従いまして、本資料中には「三菱電機」、「三菱電機株式会社」、「三菱半導体」、「三菱XX」といった表記が残っておりますが、これらの表記は全て「株式会社ルネサス テクノロジ」に変更されておりますのでご理解の程お願い致します。尚、会社商標・ロゴ・コーポレートステートメント以外の内容については一切変更しておりませんので資料としての内容更新ではありません。

注:「高周波・光素子事業、パワーデバイス事業については三菱電機にて引き続き事業運営を行います。」

2003年4月1日
株式会社ルネサス テクノロジ
カスタマサポート部

M5297P

AC-DC トータルシステムリセットIC

概要

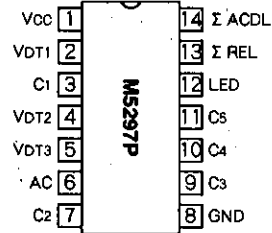
M5297Pは一つの交流電源(全波整流)と、3系統の直流電源を同時に監視することができる、AC-DCトータルシステムリセット半導体集積回路です。

交流電源を監視することにより、交流電源の瞬間時、3端子レギュレータなどの電源ICにて作られた直流電源が、低下するまえにシステムにリセット信号を送り、マイコンのなどの読み込みエラー、暴走を防ぎ、システムを安全に動作させることができます。

また、直流電源の監視を3系統備え、さらに、リセット出力もLED駆動用を合わせ、3つの出力を持ち、あらゆるシステムに対応できます。

また、リセット出力は外付けのC・Rを可変することで、時間設定もできます。

ピン接続図(上面図)



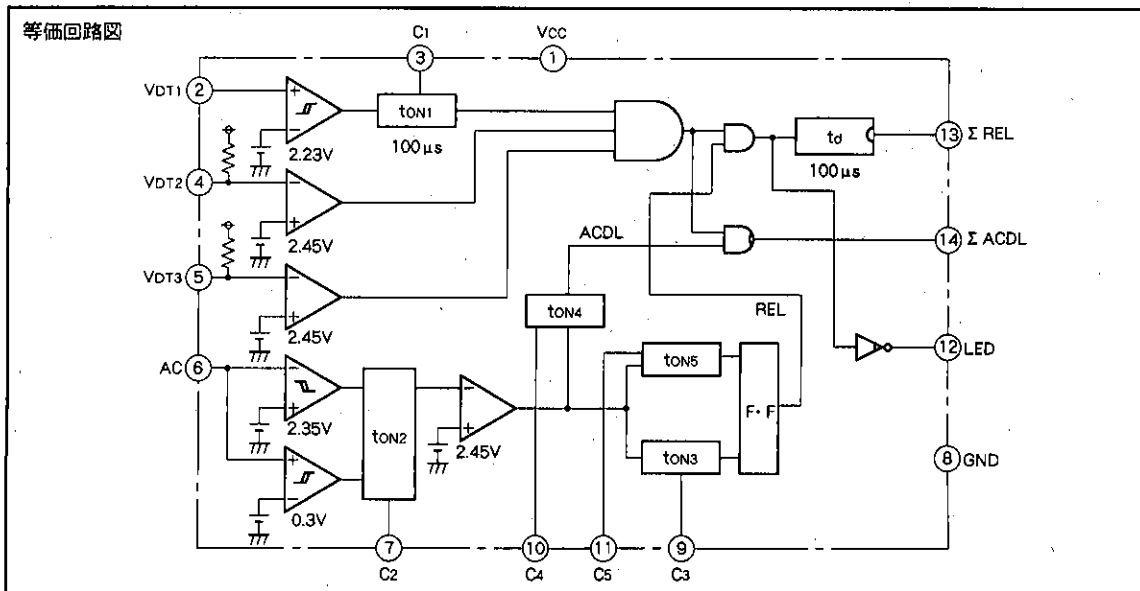
外形 14P4

特長

- 交流電流(全波整流)監視
- 直流電源3系統監視
 - 検出1.....2.23V 検出(ヒステリシス付き0.1V)
 - 遅延時間内蔵 (100μs)外付けC₁にて遅延時間可変
 - 検出2,3.....2.45V 検出
- 3リセット出力(オープンコレクタ)
 - Lowリセット
 - Σ ACDL, Σ REL V_O ≤ 0.5V (@ I_O = 5mA)
 - Highリセット.....LED(正常時Lowにより、LED点灯可)
- ACDL、RELの遅延時間可変.....C₃, C₄, C₅

用途

電源システム



絶対最大定格 (指定のない場合は、 $T_a = 25^\circ\text{C}$)

記号	項目	定格値	単位
V _{CC}	電源電圧	7	V
V _o	出力電圧	20	V
I _o	出力電流	10	mA
P _d	許容損失	700	mW
K _θ	熱低減率	7	mW/°C
T _{opr}	動作周囲温度	-20~+85	°C
T _{stg}	保存温度	-55~+125	°C

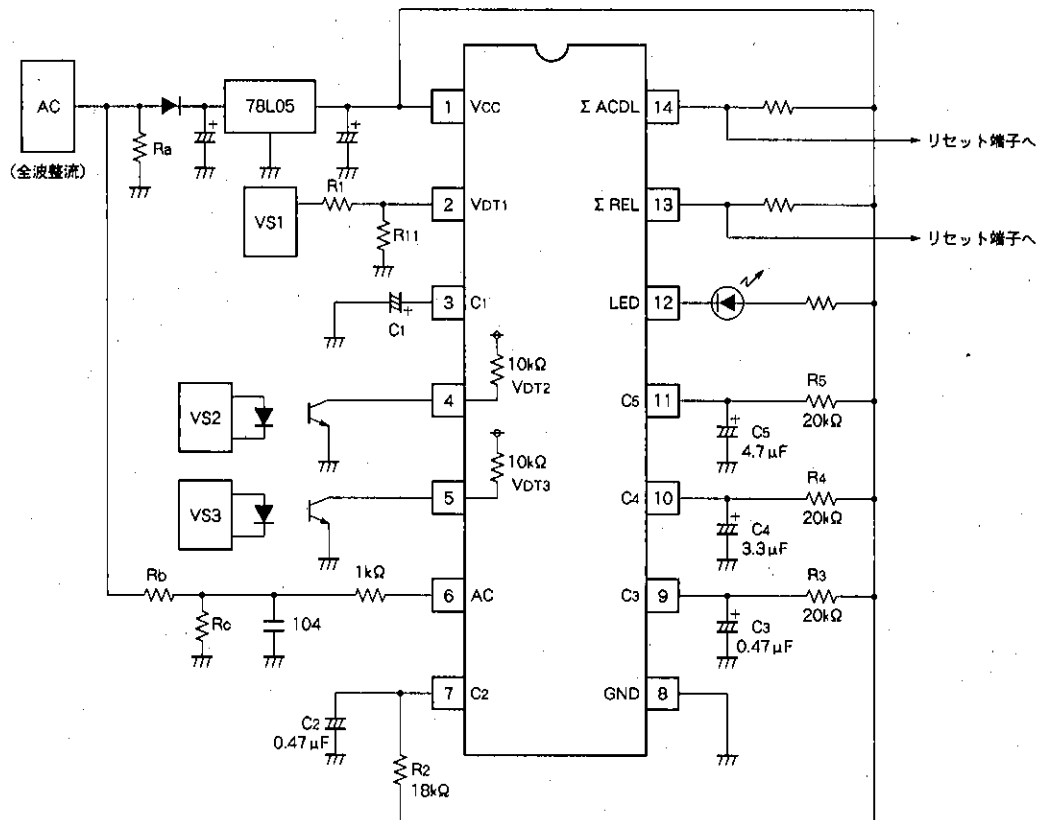
電気的特性 (指定のない場合は、 $T_a = 25^\circ\text{C}$, V_{CC} = 5V) IC単体での規格値で外付け部品のバラツキは含まない。

記号	項目	測定条件	規格値			単位
			最小	標準	最大	
I _{CC}	回路電流	出力正常値		10	15	mA
V _{DT1}	検出電圧1		2.12	2.23	2.34	V
ΔV _{DT1}	検出1ヒステリシス電圧		0.05	0.1	0.2	V
V _{DT2}	検出電圧2		2.0	2.45	2.9	V
V _{DT3}	検出電圧3		2.0	2.45	2.9	V
V _{TAC1}	REAC(H)検出電圧		2.22	2.35	2.46	V
ΔV _{AC1}	REAC(H)ヒステリシス電圧			0.2		V
V _{TAC2}	REAC(L)検出電圧		0.15	0.3	0.6	V
ΔV _{AC2}	REAC(L)ヒステリシス電圧			0.1		V
V _{REF-TH}	ACリセットスレッシュホールド		2.31	2.45	2.57	V
t ₁	V _{DT1} 遅延時間	C ₁ = 0	0.02	0.1	0.4	ms
t _{ON1}	V _{DT1} 遅延時間	C ₁ = 0.22μF	20	50	100	ms
t _{OFF2}	ΣACDL「OFF」時間	C ₂ = 0.47μF, R ₂ = 18kΩ	2.8	5.6	11.2	ms
t _D	ΣACDL→ΣREL遅延時間		0.05	0.1	0.4	ms
t _{OFF3}	ΣREL「OFF」時間	C ₃ = 4.7μF, R ₃ = 20kΩ	13.5	27	54	ms
t ₄	ΣACDL「ON」時間	C ₄ = 0μF, R ₄ = 20kΩ		1		μs
t _{ON4}	ΣACDL「ON」時間	C ₄ = 3.3μF, R ₄ = 20kΩ	9.5	19	38	ms
t ₅	ΣREL「ON」時間	C ₅ = 0μF, R ₅ = 20kΩ		5		μs
t _{ON5}	ΣREL「ON」時間	C ₅ = 4.7μF, R ₅ = 20kΩ	13.5	27	54.0	ms
V _{ACDL}	ΣACDL飽和電圧	I _o = 5mA		0.2	0.5	V
V _{REL}	ΣREL飽和電圧	I _o = 5mA		0.2	0.5	V
V _{LED}	LED飽和電圧	I _o = 5mA		0.2	0.5	V
I _{DT1}	V _{DT1} 流出電流	V _{DT1} = 0V		-0.1		μA
I _{DT2}	V _{DT2} 流出電流	V _{DT2} = 0V		-0.5	-1.5	mA
I _{DT3}	V _{DT3} 流出電流	V _{DT3} = 0V		-0.5	-1.5	mA
I _{AC}	AC流出電流	V _{AC} = 0V		-0.2		μA
I _{ACDL}	ΣACDLリーク電流	V _{ACDL} = 20V			10	μA
I _{REL}	ΣRELリーク電流	V _{REL} = 20V			10	μA
I _{LED}	LEDリーク電流	V _{LED} = 20V			10	μA

語句説明

t_{OFF2}: 瞬停を検知するために必要な最大時間。t_D: ΣACDLがLowリセットを出してから、ΣRELがLowリセットを出すまでの時間。(ΣRELよりΣACDLがt_D分だけ早くリセットを出します)t_{OFF3}: ΣACDLがLowリセットを出してから、ΣRELがLowになるまでの時間から前出t_Dを引いた時間、またはΣACDLがLowリセットを出してからLEDがHighリセットになるまでの時間。t_{ON4}: 瞬停の回復を検知してから、ΣACDLがHIGHになるまでの時間。t_{ON5}: 瞬停の回復してから、ΣRELがHighまたは、LEDがLowになるまでの時間。

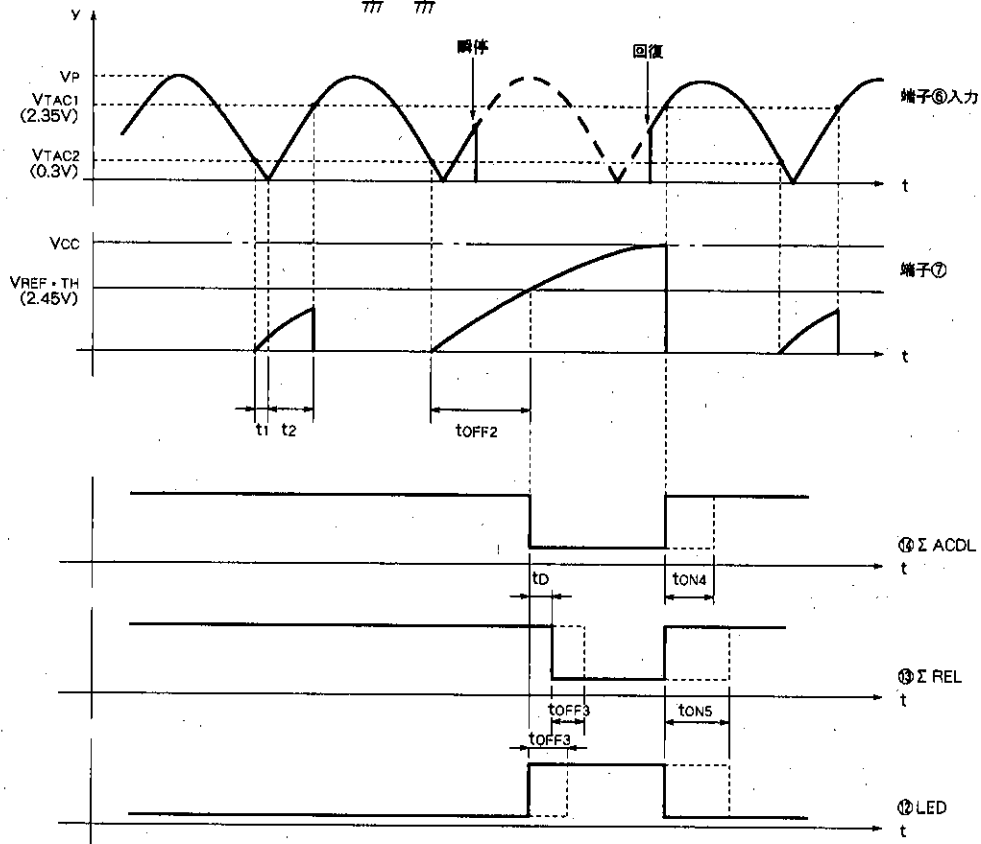
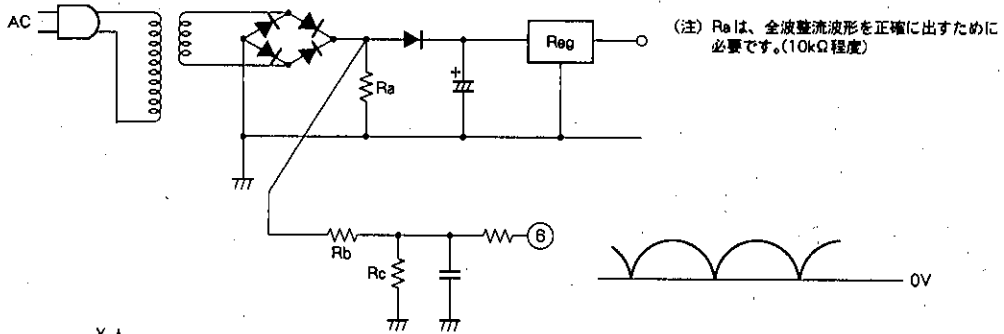
応用回路例



ご使用上の注意

1. VDT検出電圧は2.23Vですので、R₁、R₁₁の抵抗比を選ぶことで、検出電源の検出値を変更できます。(ヒステリシスは0.1V)
遅延時間は $t_{ON} = 2.3 \times 10^5 \times C$ で設定できます。
2. VDT₂、VDT₃は、IC内部のVCCより、10kΩの抵抗を内蔵しています。
検出電圧は2.45Vです。
3. AC入力には、R_b、R_cの抵抗比を適当に選び、全波整流波形のピーク電圧V_pを決めてください。
 $3V \leq V_p \leq V_{CC}$ に設定してください。
4. R₂、R₃、R₄、R₅の抵抗値は10kΩから50kΩの範囲でお使いください。
5. C₂の設定は、 $t_{OFF2} > t_1 + t_2$ となるよう次ページの関係式を参考に設定してください。
6. C₃、C₄、C₅による遅延時間を必要としない時でも、R₃、R₄、R₅は必要です。
7. 端子④、端子⑤を使用しない場合は、GNDに落としておいて下さい。

交流電源(全波整流)監視タイムチャート(直流電源 VDT1, VDT2, VDT3 正常時)



$$t_{OFF2} = C_2 \cdot R_2 \cdot \ln \frac{V_{CC}}{V_{CC} - 2.45}$$

$$t_{OFF3} = C_3 \cdot R_3 \cdot \ln \frac{V_{CC}}{V_{CC} - 1.25}$$

$$t_1 = \frac{1}{360 \cdot f} \sin^{-1} \frac{0.3}{V_P}$$

$$t_{ON4} = C_4 \cdot R_4 \cdot \ln \frac{V_{CC}}{V_{CC} - 1.25}$$

$$t_2 = \frac{1}{360 \cdot f} \sin^{-1} \frac{2.35}{V_P}$$

$$t_{ON5} = C_5 \cdot R_5 \cdot \ln \frac{V_{CC}}{V_{CC} - 1.25}$$

(f・電源周波数)

動作説明

- ① ⑥番端子の全波整流波形がピーク電圧より0Vに降下する過程において、 $V_{TAC2}(0.3V)$ まで落ちたとき、⑦番端子のC2の充電を開始します。
- ② 全波整流波形が0Vからピーク電圧まで上昇する過程においては、 $V_{TAC1}(2.35V)$ に達するとC2を放電します。
C2を充電している時間が T_{OFF2} 設定時間より短い時、正常状態とみなし、リセットは出力されません。
- ③ 瞬停が発生し、C2を放電させる信号つまり⑥番端子が $V_{TAC1}(2.35V)$ に達しないと、⑦番端子のC2は充電され続け、 $V_{REF} \cdot T_H(2.45V)$ に達し、 Σ ACDLがLOWリセットを出力します。
 Σ RELは Σ ACDLに対し、 $T_D(100\mu s)$ 遅れてLOWリセット

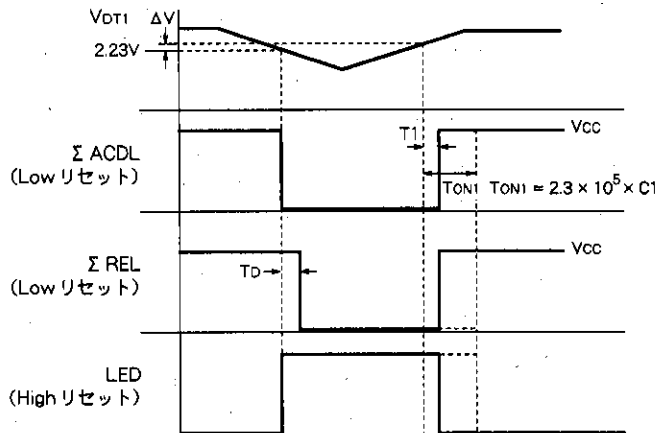
を出力します。

- ④ 瞬停が回復し、⑥番端子が $V_{TAC1}(2.35V)$ に達すると、⑦番端子のC2を放電しリセット出力を解除します。(遅延時間可変タイプ)

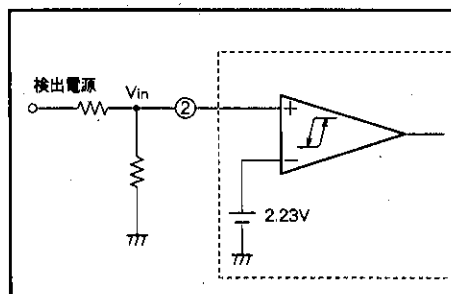
上記の説明からもわかりますように、瞬停が発生してから Σ ACDLがLOWリセットを出すまで、また、瞬停が回復してから Σ ACDLがHighになるまでの時間は、その瞬停あるいは回復がこの位相で発生するかによって変わります。 T_{OFF2} はその瞬停を検知するために必要な最大時間を規定します。

直流電源監視について

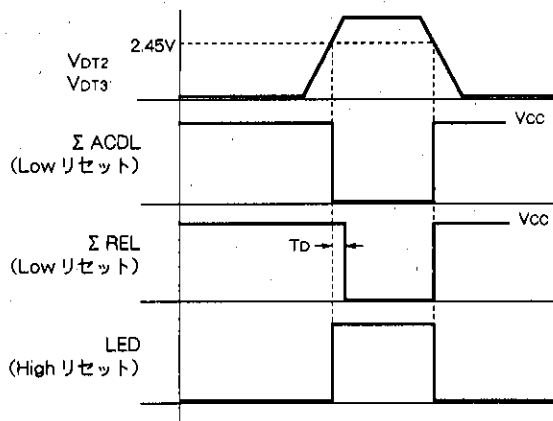
V_{DT1} 検出電圧 2.23V (ヒステリシス電圧100mV内蔵)
遅延時間 T_1 100 μs 内蔵(外付けC1付加で時間設定可能)
(交流電源、 V_{DT2} 、 V_{DT3} 正常時)



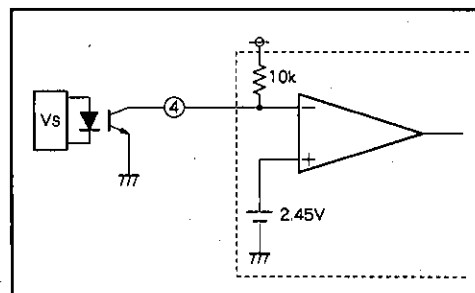
V_{DT1} ブロック図



V_{DT2} 、 V_{DT3} 検出電圧 2.45V



T_{D2} 、 V_{DT3} ブロック図



安全設計に関するお願い

- ・弊社は品質、信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品は故障が発生したり、誤動作する場合があります。弊社の半導体製品の故障又は誤動作によって結果として、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないような安全性を考慮した冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計などの安全設計に十分ご注意ください。

本資料ご利用に際しての留意事項

- ・本資料は、お客様が用途に応じた適切な三菱半導体製品をご購入いただくための参考資料であり、本資料中に記載の技術情報について三菱電機が所有する知的財産権その他の権利の実施、使用を許諾するものではありません。
- ・本資料に記載の製品データ、図、表その他応用回路例の使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する侵害に関し、三菱電機は責任を負いません。
- ・本資料に記載の製品データ、図、表その他全ての情報は本資料発行時点のものであり、三菱電機は特性改良などにより予告なしに変更することがあります。従って、三菱半導体製品のご購入に当たりましては事前に三菱電機または特約店へ最新の情報をご確認ください。
- ・本資料に記載された製品は、人命にかかわるような状況の下で使用される機器あるいはシステムに用いられることを目的として設計、製造されたものではありません。本資料に記載の製品を運輸、移動体用、医療用、航空宇宙用、原子力制御用、海底中継用機器あるいはシステムなど、特殊用途へのご利用をご検討の際には、三菱電機または特約店へご照会ください。
- ・本資料の転載、複製については、文書による三菱電機の事前の承諾が必要です。
- ・本資料に関し詳細についてのお問い合わせ、その他お気付きの点がございましたら三菱電機または特約店までご照会ください。